



「ねじれ国会」参議院で民主攻勢

安倍総理の突然の辞任で、しばらく審議の止まっていた臨時国会も通常のペースに戻り、各委員会が一斉に開かれています。一方、野党が過半数を取った参議院では、民主党提出の「年金流用禁止法案」の審議が始まり、政府・与党を揺さぶっています。

細川議員、NC大臣で活躍

細川代議士は、民主党「次の内閣(ネクスト・キャビネット:NC)」の法務大臣に就任しました。「次の内閣」は党大会・両院議員総会に次ぐ議決機関でもあり、政策の基本方針や法案への対応、議員立法の検討が行われ、それらの案件が次の内閣の閣議で審議され、承認されたものが党の方針となります。

10月16日には、民主党法務部門として、警察が行う少年の調査に関する規則改正に際し、調査権限が過度に拡大することのないよう、泉国家公安委員長に申し入れをしました。



国家公安委員長に少年調査の件で申し入れをする細川律夫NC大臣

犯罪について鳩山大臣に問う

10月24日、細川律夫代議士は衆議院議員法務委員

会で鳩山法務大臣の所信表明演説に対し質問を行いました。安倍総理辞任による国会空転のため、法務委員会での質疑は今国会これが初めてです。

まず、安全な社会をつくるというのは政治の根幹であり、法務行政は大切な分野であることを指摘しながら、加古川の女子児童殺害など、最近の凶悪犯罪の続発について大臣の所感を問いました。

次は、「犯罪の発見」についてです。先日話題になった時津風部屋で力士が稽古後に死亡した事件を例に引きながら、わが国の検視など死因調査がいかに貧弱なものかを明らかにし、新しい制度構築の必要性を主張しました。細川代議士は現在衆議院に死因究明に関する2つの法案を提出し、その成立を目指し、審議入りを図っているところ



ところ

です。第3は冤罪についてです。今年に入ってから、鹿児島、富山、佐賀県で、冤罪

事件に関する判決が相次ぎました。いずれも、被疑者らは強引な捜査の犠牲者であり、自白に頼る捜査手法が批判されたものです。この質問で、欧米では当然のように行われている、「取調べの可視化」、つまり録音録画によって取り調べの状況をより透明にすることを、わが国でも全面的に導入し、冤罪の防止に努めるべきであると主張しました。

今後も野党第一党の法務政策責任者として、法務大臣としっかりとした議論を展開していきます。

冤罪被害者から聴く

翌25日は、その鹿児島と富山の冤罪被害者を民主党法務部門会議に呼び、冤罪に至った事情、取調べの経過などを聴きました。その会議に先立ち、議員会館の細川事務所に江田五月参議院議長にきてもらい、両名と懇談をしました。



左から、江田議長、志布志事件の中山県議、富山の柳原さん、細川代議士

鹿児島の志布志事件は、2003年、当時県議選に当選した中山さんら15名が、公選法違反などで逮捕され、自白を強要されるなど違法な捜査が行われたものです。中山さんは会議の席で、1年以上勾留されるなどの警察の不当な取調べに対する怒りを訴えました。

富山の氷見事件の柳原さんは、全く身に覚えのない婦女暴行容疑で自白を強要され、実刑判決を受けました。刑期を終え出所した後に真犯人が現れたため、無罪となったもので、出所直後の家族や世間の冷たさなどの苦痛を訴えました。

民主党の法務部門では、これらの冤罪をなくすため、取調べのすべての場面を録音・録画するという法案を参議院に提出する準備を進めています。

労働契約法の対案を提出

細川代議士は厚生労働委員会にも所属していますが、衆議院では労働法制の審議がどうなるかに注目が集まっています。前国会で「最低賃金法改正案」の民主党案を提出しましたが、去る9月28日、「労働契約法」の民主党案を衆議院に提出しました。両案とも細川律夫代議士が筆頭提案者です。この労働契約法案は、政府案の4倍の分量で、労働契約の締結から終了までしっかりと規定しています。政府案に比べ、労使の合意原則を徹底し、

労働者に不利な、一方的な労働条件の変更ができなくなっています。また、均等待遇原則や有期労働契約に対する規制も盛り込み、パートや契約社員など非正規の労働者の権利を保障する内容となっています。

両案の法案審議は11月上旬が山場です。細川代議士が民主党を代表し与野党交渉を行っています。

越谷社会保険事務所オープン

この10月1日、南越谷の越谷サンシティの5階に社会保険事務所が開設されました。今までは春日部にしかなかった社保の事務所が越谷にでき、越谷市はもちろん、草加市など県南東部の住民にとって便利になりました。折りしも、多くの年金記録が失われているという事実が明らかになり、その対策が政治課題になっていることもあり、オープン当初は200人以上の人が、年金記録の確認などのために訪れ、にぎわっていました。

この設置は、国会の承認案件で3月の承認の際は、細川代議士も積極的に関わった経緯があります。

日暮里・舎人ライナー3月開業

JR日暮里駅と足立区見沼代親水公園(9.7km)を約20分で結ぶ「日暮里・舎人ライナー」の開業日が平成20年3月30日(日)に決まりました。この路線は、お台場を走る「ゆりかもめ」と同じ新交通システムで、東京都交通局が運営にあたります。「日暮里・舎人ライナー」が開業すると、草加市西部の遊馬町や新里町は都心へのアクセスが格段によくなります。今後は北部、または南部への延伸が課題です。

